



## 北海道子どもかるた大会に中学生が出場

1月31日、第18回北海道子どもかるた大会空知地区予選会が総合体育館で開催されました。

大会には、小学生の部、中学生の部合わせて25チーム、約100人が参加。読み手の声に耳を澄まして木札に集中、目指す木札を見つくと、大きな掛け

声とともに、手を伸ばすなど、熱戦が繰り広げられました＝写真上＝。本市からは、中学生の部に芦別育成会の2チームが出場。芦別育成会Aチームが見事優勝し、2月22日に札幌市南区定山溪で行われた全道大会に出場しました。

2月5日、大会出場選手が市長に結果報告を行いました

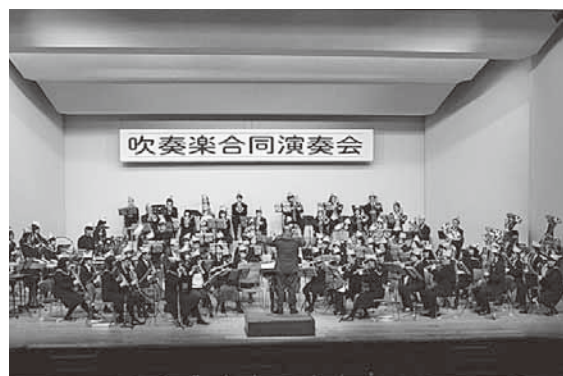


## 青少年健全育成市民の集いと吹奏楽合同演奏会が開催される

2月1日、青少年健全育成市民の集いと吹奏楽合同演奏会が市民会館で開催されました。

青少年健全育成市民の集いは、スポーツや文化活動などで、全道・全国レベルの大会で活躍した児童・生徒や、青少年の日作文・標語の入選者をたたえるもので、今年は24人が表彰の対象となりました。

また、吹奏楽合同演奏会は今年で8回目。芦別小学校スクールバンド、芦別、赤平両中学校と芦別高校吹奏楽局、市民吹奏楽団が出演し、単独または合同で演奏。最後はこの日の出演団体全員がステージに上がり、アニメ映画主題曲などの演奏を披露＝写真＝。会場から盛んな拍手が送られました。



## 市内で初めて暴風雪災害を想定した防災訓練が行われる

2月5日、暴風雪災害を想定した大規模防災訓練が、野花南町で行われました。各地で暴風雪災害が増えていることから、初めて実施されました。

訓練は、車両が吹きだまりで立ち往生したほか、暴風雪で停電が発生したとの想定で行われ、市職員、消防、警察のほか野花南町地区住民など約130人が参加しました。

まず、雪に埋まり立ち往生した車両を消防署員らがスコップで掘り起こし、車内に閉じ込められていた運転手らを救急搬送しました。また、住民を避難所である野花南生活改善センターにバスなどで輸送。毛布や非常食を運び込み、炊き出しなどを行い、本番ながらの訓練が行われました＝写真＝。



## 大分県臼杵市で「映画学校」開催。本市からも参加し、古里交流



物産展では、芦別産のジャガイモや農産物加工品などを販売しました

大分県臼杵市で大林宣彦監督作品の舞台となったマチが一堂に会しての「臼杵古里映画学校」が、2月13日から15日まで開催され、本市からも市、観光協会、芦別映画製作委員会メンバーら12人が参加しました。

大林宣彦監督の映画にゆかりのあるマチが集まり、古里について語り、交流を深めようと今回初めて行われ、映

画上映のほか交流会、各マチの物産展などが開催されました。

15日の「古里サミット」には、一昨年ロケが行われ、昨年全国公開された映画『野のなななのか』の舞台地を代表して、清澤芦別市長もパネラーとして参加。芦別の紹介のほか、マチをPR。今後の交流の進展について期待を寄せていました。